


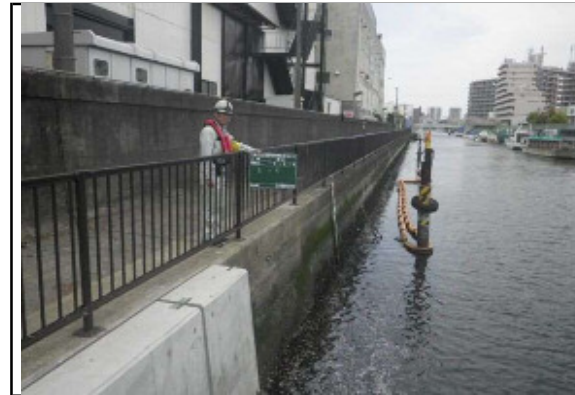
【件名】	呑川防潮堤耐震補強工事（その12）	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	東京都大田区東糀谷六丁目地内（呑川）	【受注者名】	大木建設株式会社 下請者名：三海工業株式会社	
【工期】	平成29年3月21日から平成29年11月14日まで	【主たる技術者名】	相澤 裕幸	

【工事概要】

本工事は、呑川河口部において、東日本大震災を踏まえ、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても、津波等による浸水被害を防ぐことのできるよう、地盤改良や補強コンクリートにより防潮堤の耐震補強工事を行ったものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、施工箇所対岸に係留船舶があり、航路が非常に狭い状況においても、関係者との調整を図り、下請業者と協力して高い技術力で工事を遂行した。船舶所有者との調整も密に行い、意見や要望が出た際には速やかに対応を行った。工事中は警戒船を配置し、呑川を利用する船舶所有者への安全に配慮した。品質管理や出来栄も良好であり、工事内容も含めて極めて優良な工事であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
施工箇所対岸に係留船舶があり、航路が非常に狭い状況においても、船舶が航行する時は関係者と調整をとり、クレーン台船をその都度移動しながら工事を行ったこと。
- ◇ 特に工夫した点
狭小河川幅での工事船舶の配置および、締切鋼矢板内排水後の漏水防止措置については、二重締切部薬注範囲の拡大や、鋼矢板継手部に止水材を塗布し確実な締切を行ったこと。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
工事に係わった方々と共に問題点を抽出し解決して、無事故無災害で本工事を完成させたとき、達成感を得られた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
工事着手から中間検査、完成という工事の流れの中で、中間地点・完成系を目標とする前に、身近な地点を目標におき日々実行していくことが重要である。



鋼矢板圧入状況（上流）